

町会活動に関するアンケート 調査結果報告書

八 尾 市
令和7年2月

I 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、昨年度に自治振興委員会の皆様に実施したアンケート結果やご意見等を踏まえ、働き世代をはじめ多くの方が参画しやすい負担感の少ない町会運営や活動となるよう、今後も、町会加入の促進や町会活動の活性化につながる更なる取り組みを、自治振興委員会とともに検討するための基礎資料とすることを目的とし、実施しました。

1 調査概要

①調査期間	令和6年10月8日～令和6年10月31日
②調査対象	八尾市自治振興委員 741名
③調査方法	アンケート解答用紙による回答

2 回収結果

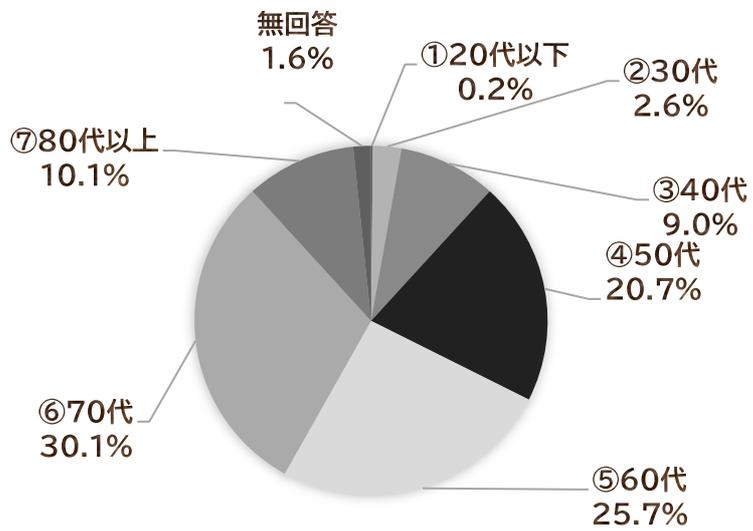
配布数	回答数	回答率
741件	614件	82.9%

3 回答結果（※「問2「地区名」「問8.町会名」の回答については省略しています）

- グラフ内の「SA」は複数の選択肢の中から一つだけを選ぶ方式です。
- グラフ内の「MA」は複数の選択肢の中から複数の回答を選ぶ方式です。
- (n)は回答者数を示しています。(N)は回答数を示しています。
- 回答について、「SA」は、各質問の回答者数(n)、「MA」は、回答数(N)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

問1. お答えいただくあなたの年代として、該当するもの1つに○をつけてください。

- 年代は「⑥70代」が 30.1%、「⑤60代」が 25.7%、「④50代」が 20.7%と続いています。



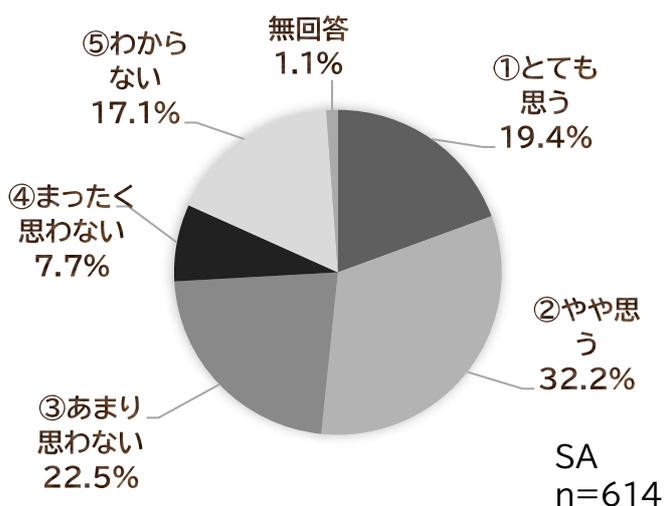
SA n=614

問3- (1) 市の依頼事項の削減に対して、あなたの感想（手間や負担が軽減されたか）として最も近いもの1つに○をつけてください。

- 手間や負担が軽減されたと感じている割合（①とても思う、②やや思う）が、51.6%で半数以上を占めています。
- 軽減されていないと感じている割合（③あまり思わない、④まったく思わない）が 30.2%、軽減されたか分からない、不明（⑤わからない、無回答）が 18.2%となっています。
- 地区委員会の回数を減じている6地区（八尾、北山本、西郡、南高安、高安、志紀）での手間や負担が軽減されたと感じている割合は、60.3%となっており、全体の 51.6%と比較して高くなっています。

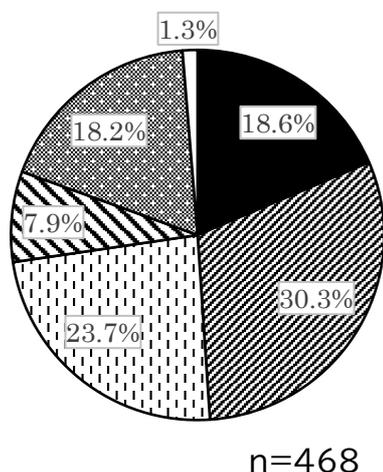
一方で、地区委員会の回数を地区委員会の回数を減じていない22地区については、手間や負担が軽減されたと感じている割合は 48.9%となっており、全体の 51.6%と比較して低くなっています。

問3- (1) グラフ

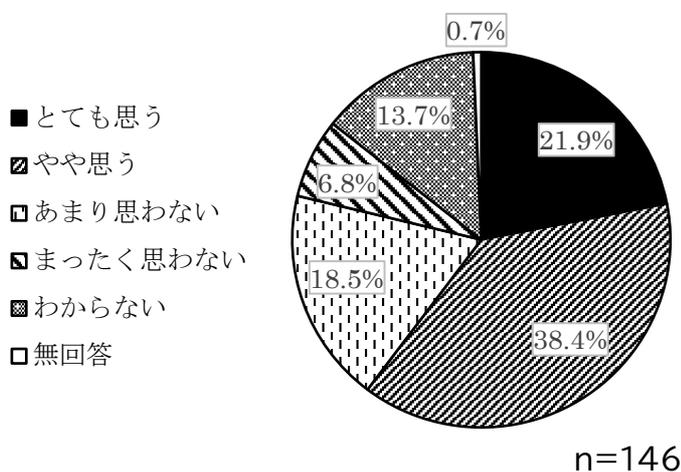


※⑤「わからない」の理由として「今年から町会長になったので分からない」（昨年と比較できない）という記載が複数ありました。

地区委員会の回数を減じていない22地区



地区委員会の回数を減じている6地区

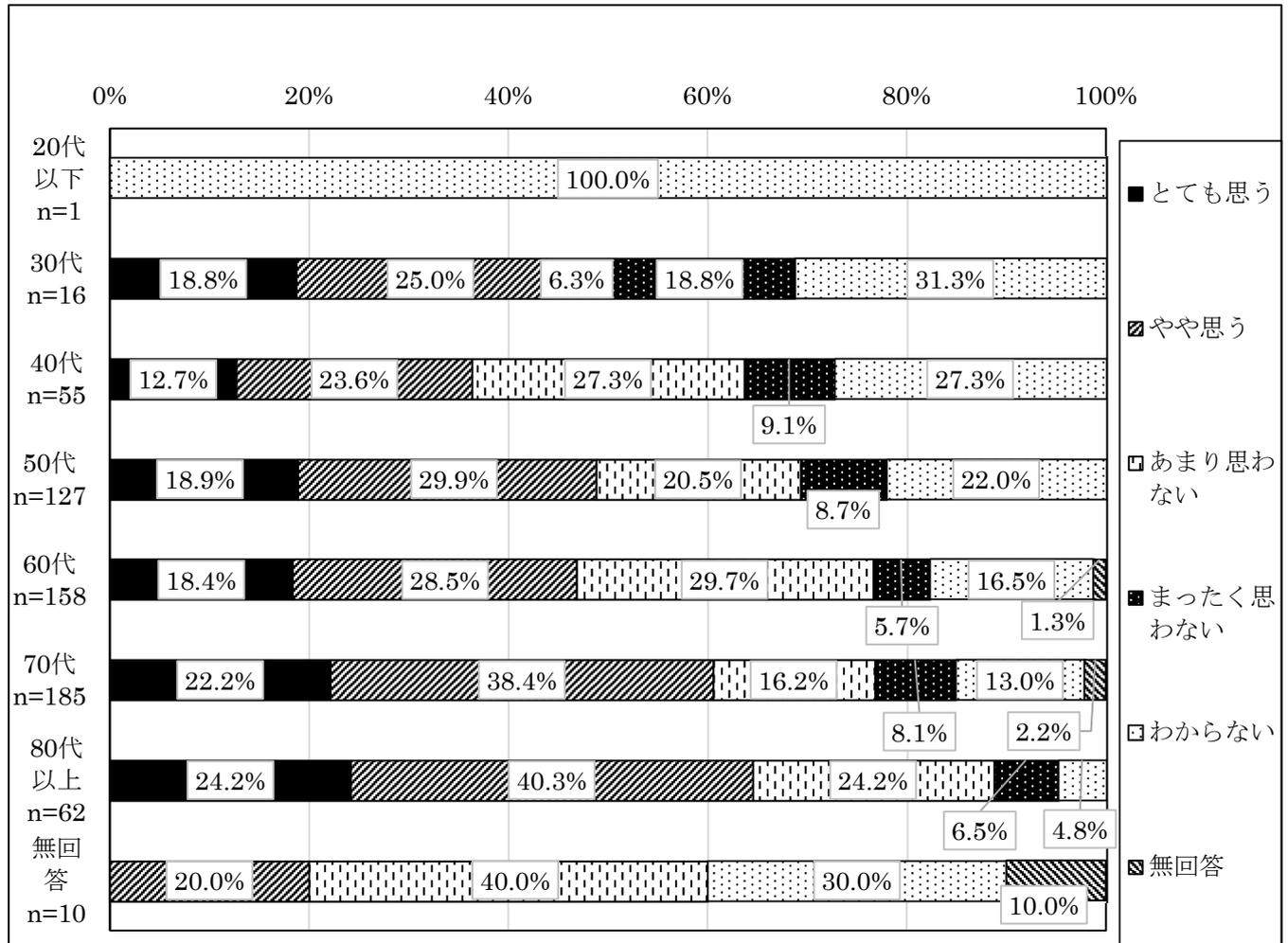


(参考) 問3 - (1) クロス集計結果

○年代別クロス集計

- 手間や負担が軽減されたと感じている割合 (①とても思う、②やや思う) について、30代から60代にかけては全体の51.6%より低く、70代以上では60%を超えています。
- 年代が若くなるほど「⑤わからない」という回答の割合が増えています。

問3 - (1) 市の依頼事項の削減に対して、あなたの感想 (手間や負担が軽減されたか) として最も近いもの1つに○をつけてください。

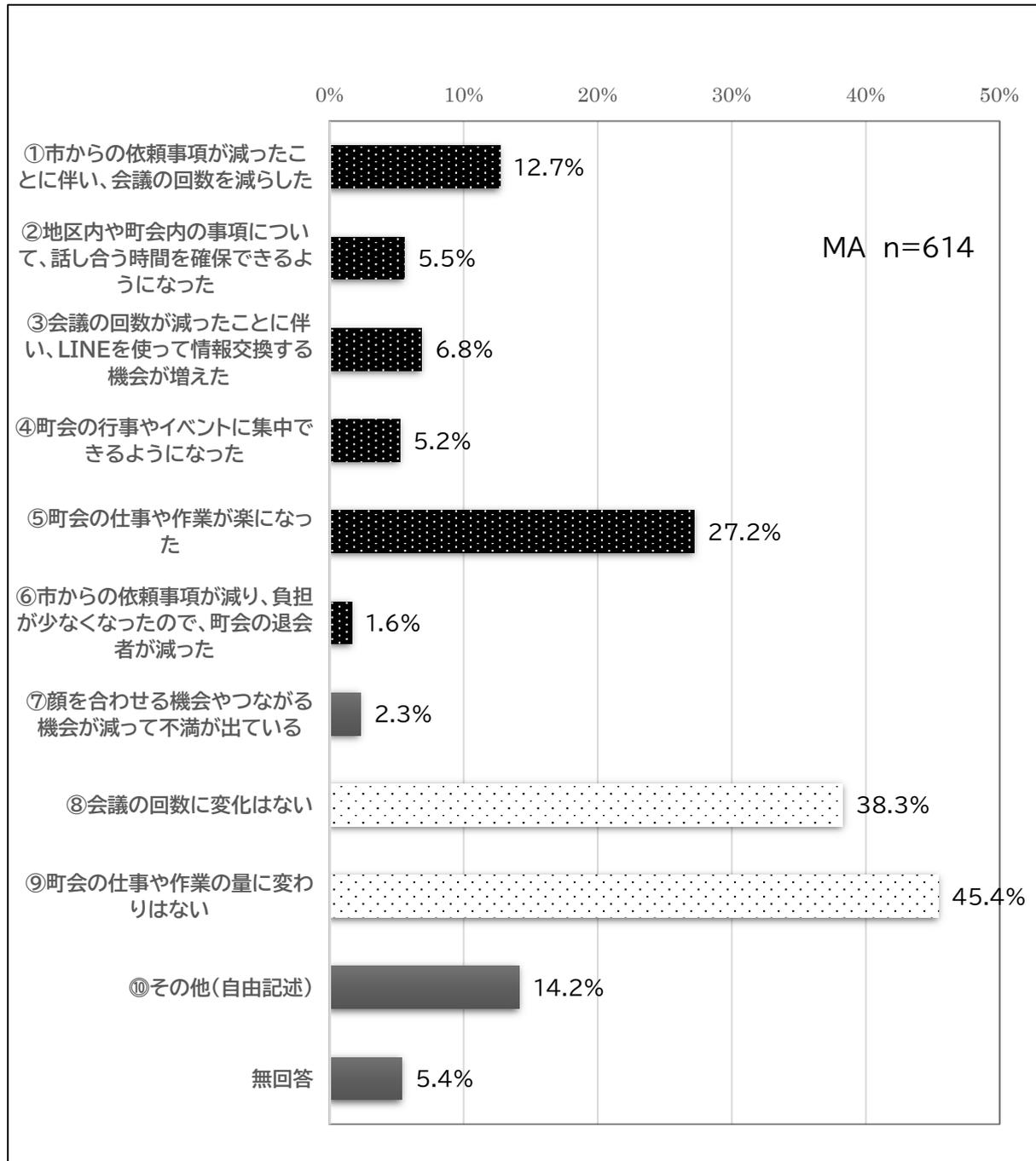


問3-（2）市からの依頼が減ったことで、あなたの地区や町会で変化はありましたか？

該当するものすべてに○をつけてください。

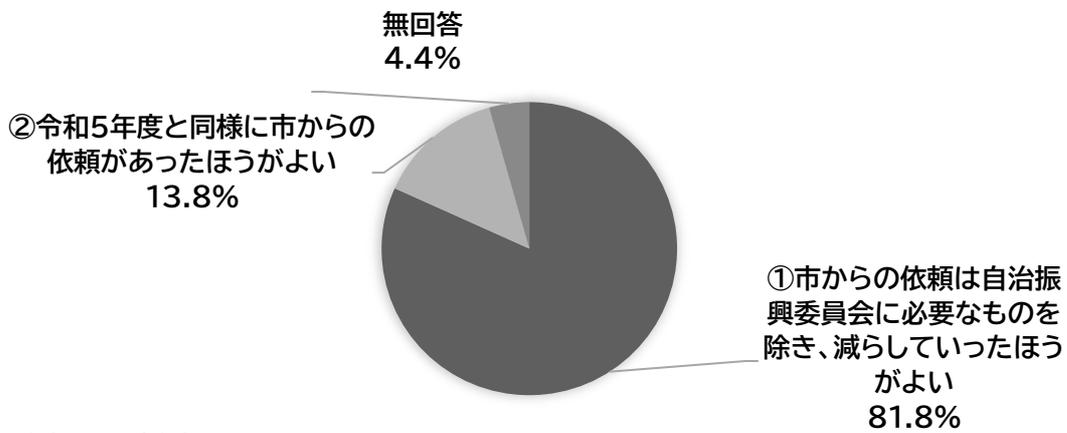
※⑧⑨の割合が高い理由として、各地区での会議や地区独自の仕事量等は変化が少ないことが推測されます。

- 「⑤町会の仕事や作業が楽になった」の割合が 27.2%、
「①会議の回数が減った」が 12.7%となっています。
- 「⑧会議回数に変化はない」が 38.3%や
「⑨町会の仕事や作業の量に変化はない」が 45.4%と高くなっています。



問3-(3) 市の依頼の今後の方向性として、あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

- 「①減らした方がよい」の割合が81.8%で多くを占めています。



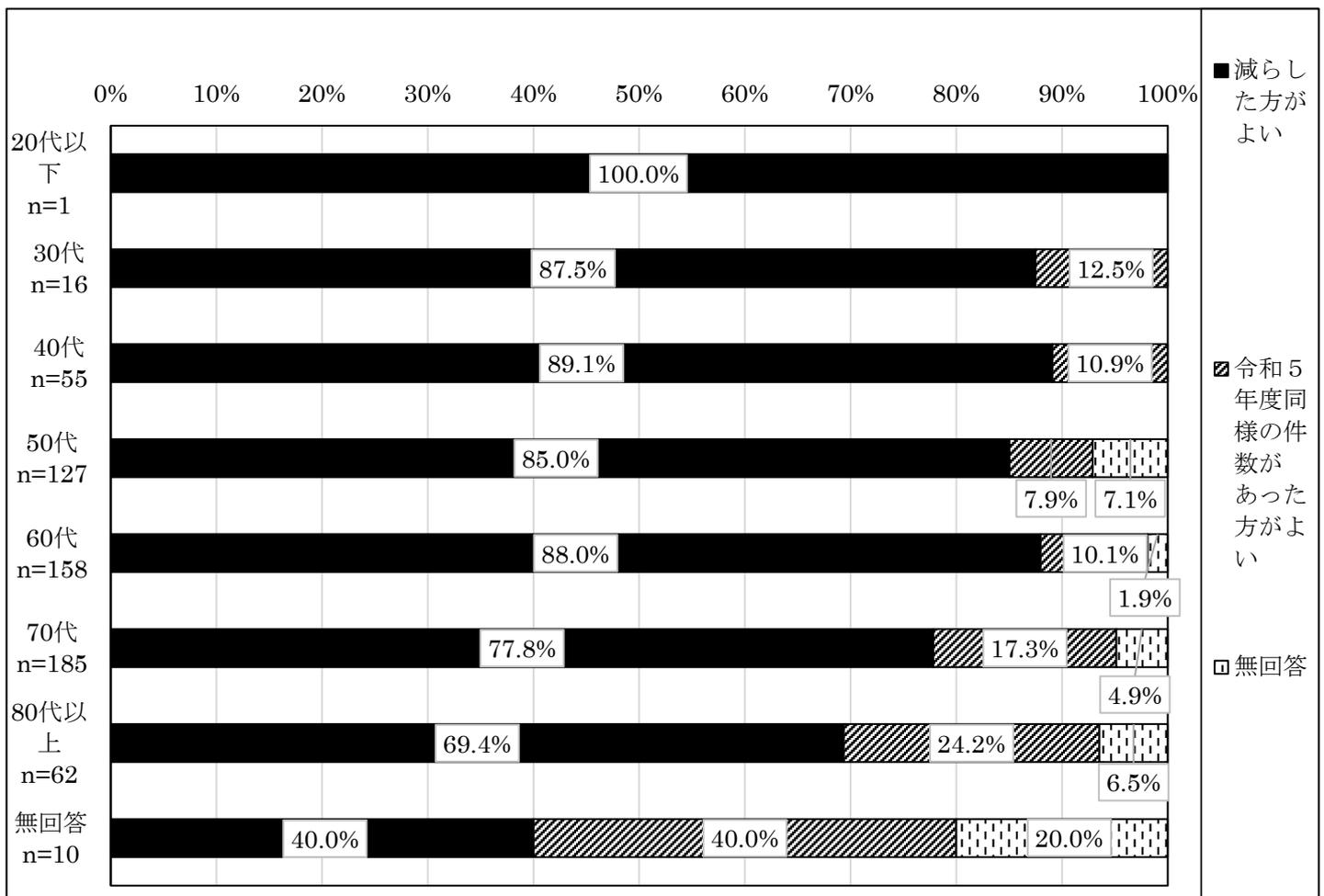
SA n=614

(参考) 問3-(3) クロス集計結果

○年代別

- 70代、80代以上では全体の81.8%より低くなっています。

問3-(3) 市の依頼の今後の方向性として、あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

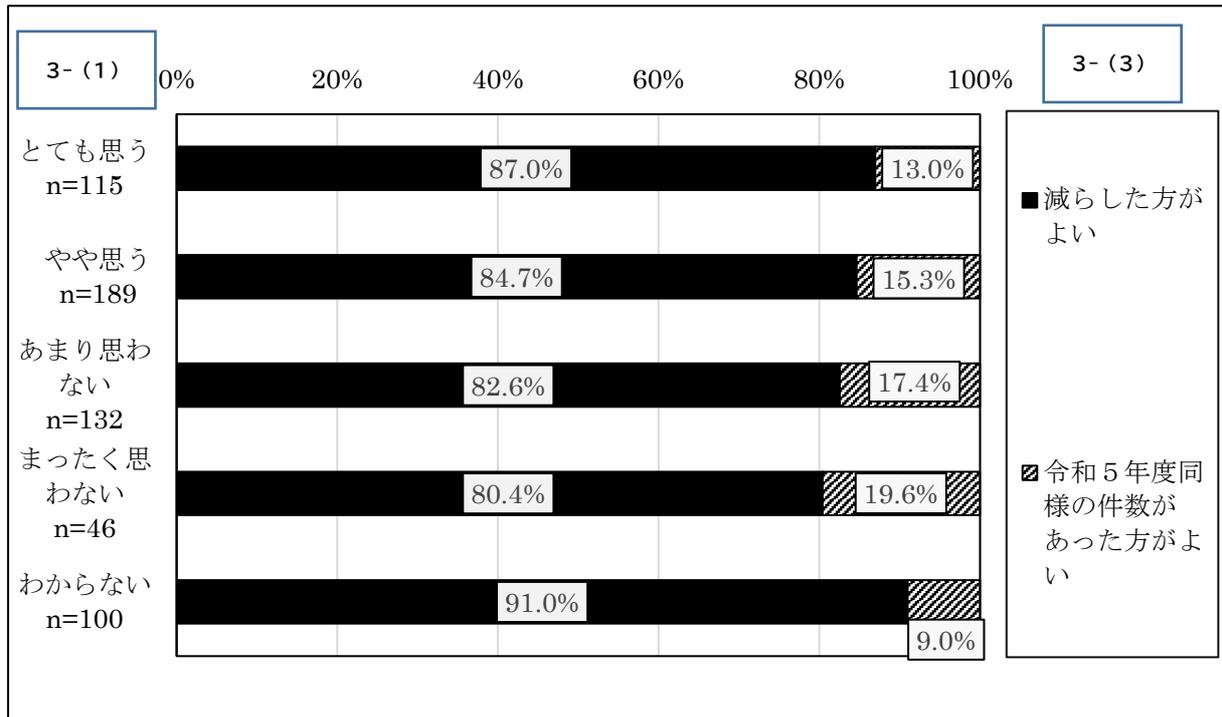


(参考) 問3 - (3) クロス集計結果

○問3 - (1) 市の依頼事項の削減に対して、あなたの感想（手間や負担が軽減されたか）として最も近いもの①～⑤とのクロス

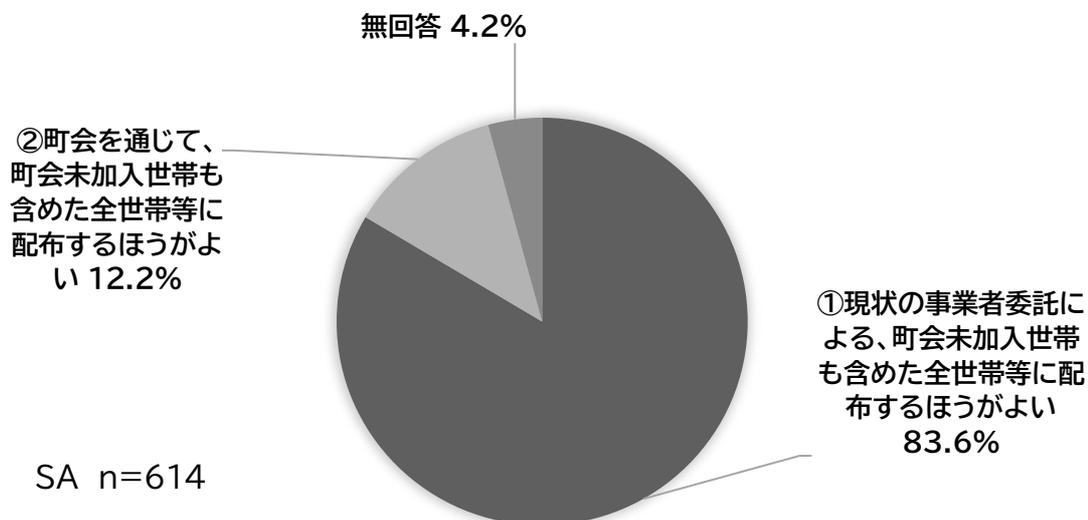
- 「⑤わからない」と回答した方を除き、「①とても思う」と回答した方が 87.0%と最も高くなっており、そこから順に「④まったく思わない」と回答した方が 80.4%と最も低くなっています。

「問3 - (1) 手間や負担が軽減されたか」 × 「問3 - (3) 市の依頼の今後の方向性」



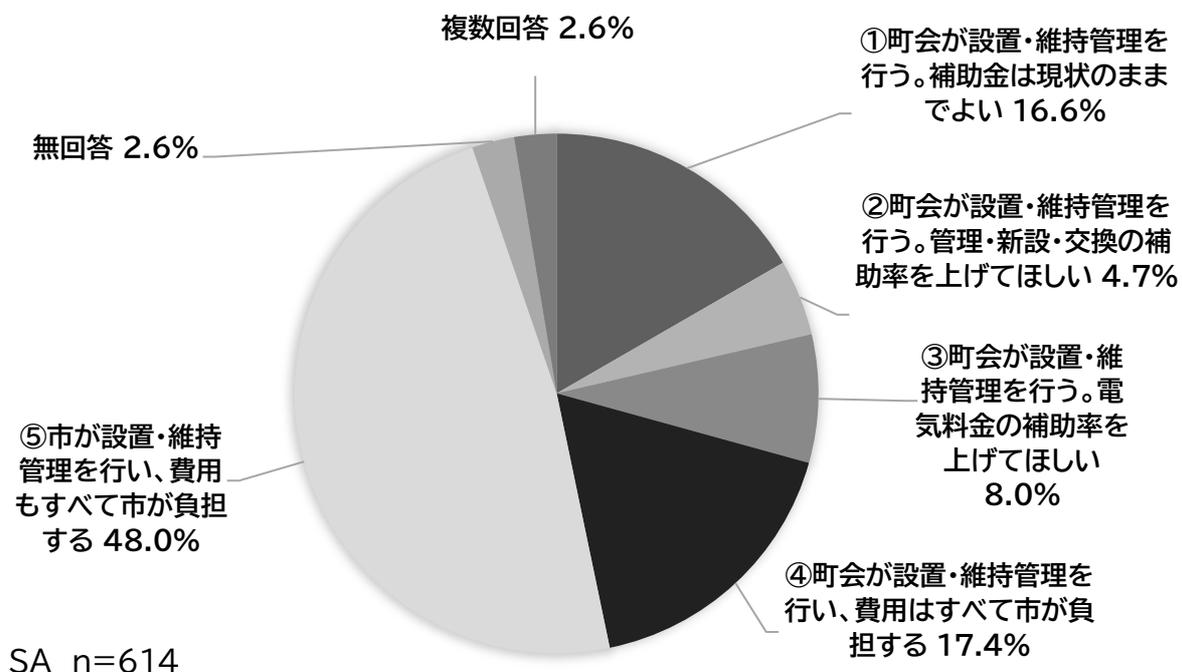
問4. 市政だよりについては、令和3年7月から、市内全域すべての市民の皆様等に等しく市政情報が提供されるよう、町会未加入者も含めた全世帯と事業者に、事業者委託により配布しています。市政だよりの配布について、あなたの考えに近いもの1つに○をつけてください。

- 「①事業者委託」の割合が83.6%で多くを占めています。



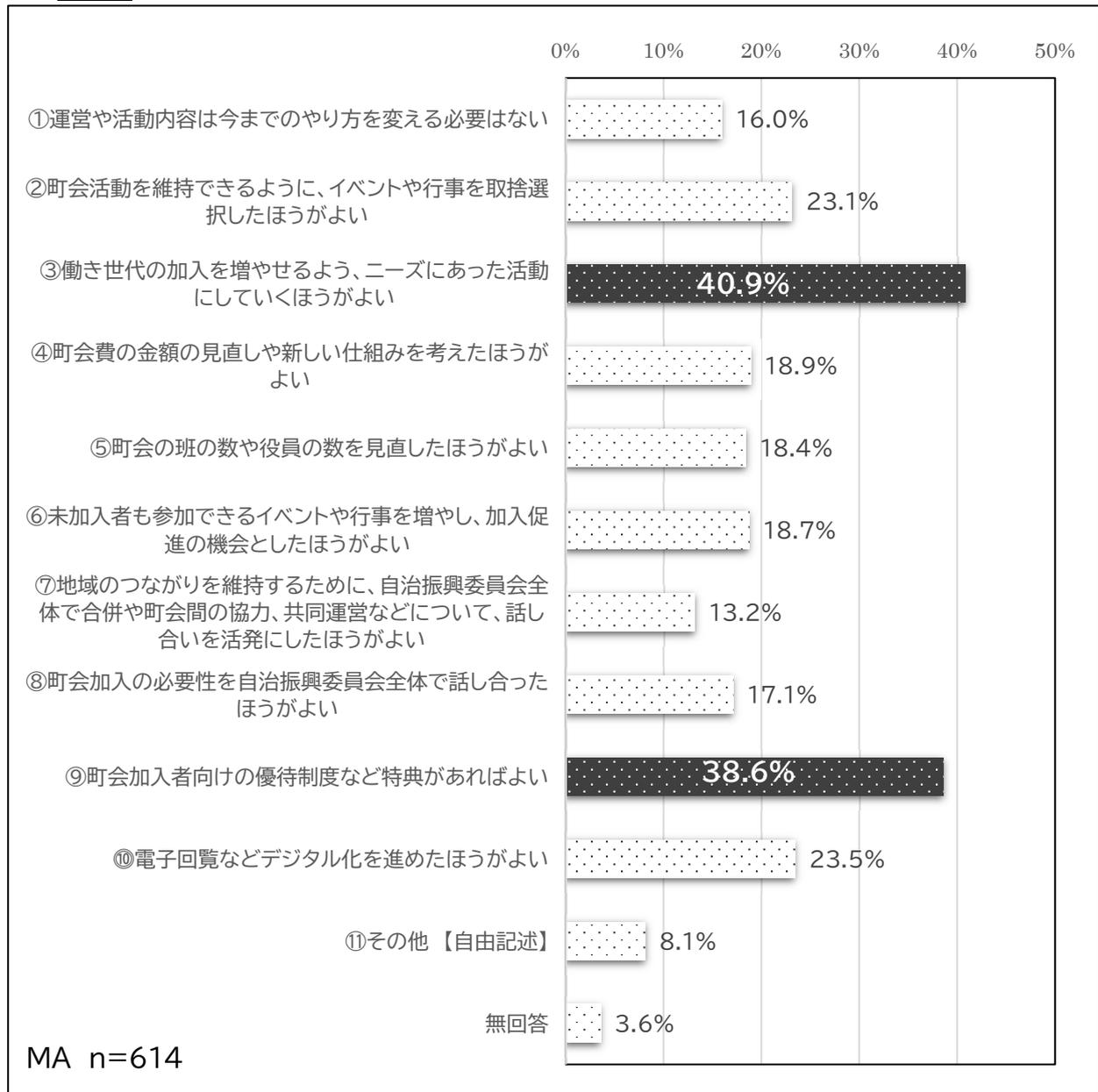
問5. 今後の防犯灯の運営等について、あなたの考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

- 「⑤市が設置・維持管理を行い、費用もすべて市が負担」の割合が48.0%で多くを占めています。



問6. 今後、町会組織と活動を維持存続するために、何をすべきと思いますか？あなたの考えに近いものすべてに○をつけてください。

- 「③働き世代の加入を増やせるように、ニーズにあった活動」が 40.9%、「⑨町会加入者向けの優待制度など特典」が 38.6%と特に高くなっており、「⑩電子回覧などデジタル化」が 23.5%と続いています。

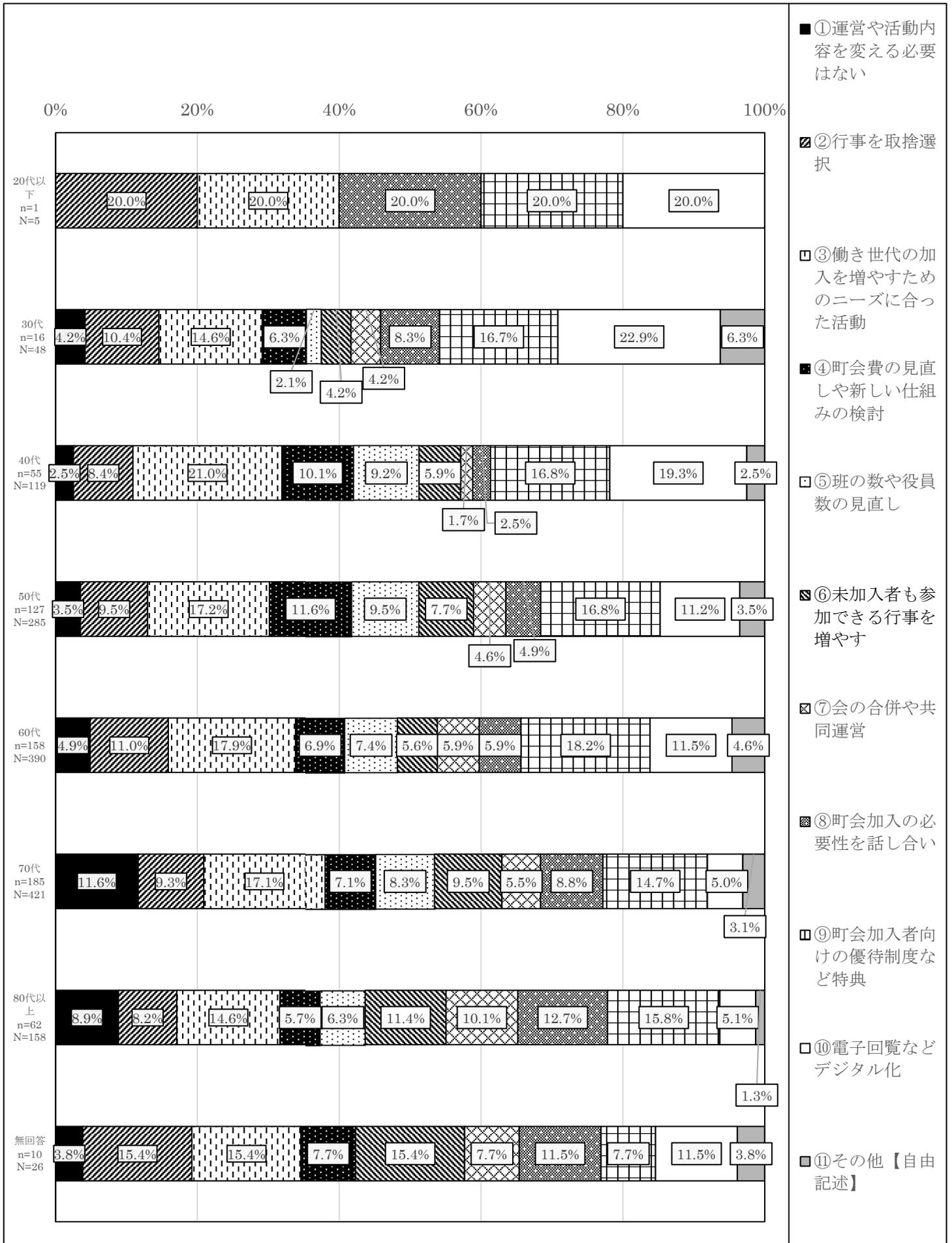


(参考) 問6クロス集計結果 ※グラフは次ページに掲載しています。

○年代別

- 「①運営や活動内容を変える必要はない」の 16.0%を選択した方のうち、70代以上が高い傾向になっています。
- 全体で高い割合であった「③働き世代の加入を増やすためのニーズに合った活動」の 40.9%と「⑨町会加入者向け優待制度など特典」の 38.6%では、どの年代でも比較的に近い割合になっています。
- 次いで全体で 23.5%と高かった「⑩電子回覧などデジタル化」では年齢が若いほど高い割合になっています。

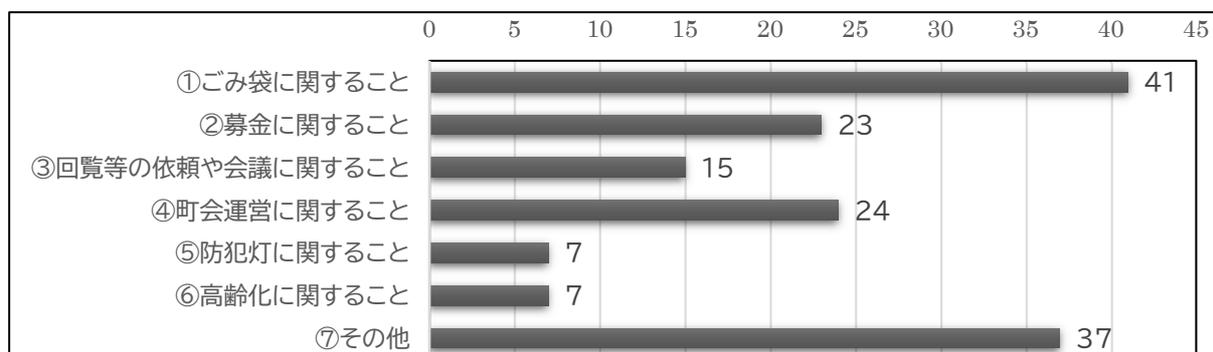
問6 今後、町会組織と活動を維持存続するために、何をすべきと思いますか？



問7. 各種依頼（募金や賛助金の協力、ごみ袋の配布など）や町会活動で負担軽減が必要な事項、

その他、お気づきのことがあればご記入ください。【自由記述】

■ ごみ袋に関する意見が多い結果となりました



以下に主な回答（154件）を取りまとめています。

① ごみ袋に関すること(41件)

- ・ごみ袋配布の業者委託化について(16件)
- ・ごみ袋の有料化について(15件)
- ・ごみ袋配布の世帯数確認の負担軽減について(3件) 他7件

② 募金に関すること(23件)

- ・募金の回数が多いことについて(10件)
- ・募金のお願いや集金の負担が大きい(5件)
- ・募金の任意性について(5件) 他3件

③ 回覧等の依頼や会議に関すること(15件)

- ・回覧等をもっと減らすべき(7件)
- ・会議をもっと減らすべき(3件)
- ・回覧をデジタル化するべき(3件) 他2件

④ 町会運営に関すること(24件)

- ・役員の負担軽減について(10件)
- ・会費について(4件)
- ・コミュニケーションの必要性について(3件) 他7件

⑤ 防犯灯に関すること(7件)

- ・未加入者との不公平感の解決について(6件)
- ・町会での維持が困難なこと(1件)

⑥ 高齢化に関すること(7件)

- ・高齢化で役員不足になっている(4件)
- ・高齢者の負担が増えている(3件)

⑦ その他(37件)

- ・今まで通りで良い(15件)
- ・負担が多い取組みは市で実施してほしい(7件)
- ・今季初めてでわからない(3件) 他12件